

※1 掛けふとんと敷きふとんの間にノズルを差し込み、冬モードにてクレベリンを運転した状態にして、布団内部の二酸化塩素を確認。また、掛けふとんと敷きふとんの間にノズルを差し込み、付着する菌の一種の除去率を調べた結果、60分で98%以上、90分で99.5%以上除去することが確認できました。(大幸薬品調べ) ウイルス・菌の全てを除去できるものではありません。成分の濃度はご利用条件により異なります。

※2 掛けふとんと敷きふとんの間に枕を入れ、ノズルを差し込み、冬モードにてクレベリンを運転した状態にして、吹き出し口から15cmの位置で6段階臭気強度表示法により検証。60分で臭気強度1.8ランクダウン(1ランクダウンは臭気成分が約90%減に相当)、二酸化塩素なしと比べても1.1ランクダウンを確認できました。(株環境管理センター調べ)